

# びとう和広後援会ニュース

2009.11.10

第24号

発行責任者  
長谷川満敏

## 政権交代実現！ 安心と元気の三田めざして 頑張ります！



9/9 (水)

9月議会  
代表質問

晩秋の候、後援会の皆様には日頃より力強いご支援・ご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

8月30日の衆議院選挙におきまして、**政権交代**を果たすことができました。民主党議員の一人として、皆様に訴えてきたことが今回の結果につながったと、大きな達成感を感じています。あわせて、市議会議員ではありますが、国政における政権与党の責任を感じております。一層、皆様の声をしっかりとお聞きし、市政・県政・国政と連携を密にし、方向性を正して参ります。

**鳩山政権**では、マニフェスト実現に向け、矢継ぎ早に手を打っていますが、財源は大きな課題です。既得権を打ち破り、一般会計と特別会計の両方をしっかりと検証し徹底した**無駄の排除**を行なってもらいたいと考えています。最近の国会中継が活発で、お互いに自分の言葉で述べられています。これも政権交代の効果の一つと思います。

三田市議会でも、9月議会・決算委員会・10月臨時議会と今年度を折り返す中、新しい動きが見られます。

**9月議会**では、一般質問で初めて再質問回数制限を撤廃した**一問一答方式**が試行され、傍聴者の分かりやすい議会・問題の深掘りができる議会を追求しています。私も9月9日会派を代表して一般質問を行い、念願だった第2テクノパークの再起動での問題点などをいただきました。

**決算委員会**では、**全事業の成果**を提示頂き、**審議体制**を整えました。私は副委員長を拝命し、委員会運用を担いながら、技術者育成・水害に強い山林整備を訴えました。

**10月臨時議会**では、国の大型補正予算対応の教育関連事業が認可された後、**役員改選**が行なわれ、新議長に同じ会派の檜田議員を送り出しました。従来の慣例(議長

は3期目以降)を覆しての選出です。

また、**議会改革プロジェクト**では、やっと**議員定数**のあり方に向け、調査チームを設定し近隣市の動向調査を開始しました。私は各チームの調査内容の整合性を図るため、調査シートを作成し、採用いただきました。特に、議員定数の根拠と決定プロセスを比較できるよう配慮しています。

さらに、**まちづくり基本条例**(市長の選挙公約でもあり、市民の協働と参画の役割や審議プロセスを明確化する法律)検討委員会が行政・市民委員会・議会のそれぞれで立ち上げられ、検討されます。私も議会内委員会の委員となりました。

**後援会活動**は、8月の選挙で活動が停滞しておりましたが、**11月25日のボウリング大会**から再開いたします。多くのご参加をお願い致します。

インフルエンザが猛威をふるい、多くの学校行事が中止になっています。寒い季節に向かいます。お体ご自愛いただきますようお祈り申し上げます。

これからも、皆様の声をお聞きし、市民サービスの向上、安心安全・活気活力のある三田に向け、精一杯頑張参ります。皆様の一層の力強いご支援・ご協力のほど、よろしくお願いたします。



三田市議会議員

びとう **かずひろ**  
和広



## 議会報告(9月議会:一般質問)

<一般質問(会派代表):(質問者:美藤)>

(び:は質問/答弁に対する私の考えです。)

### 1. 雇用対策の状況・成果と課題について

問:昨年来の経済危機の中、市は緊急雇用対策として臨時採用を実施した。雇用の状況・課題について問う。

答:①**市の雇用実績と、国の緊急雇用対策の効果:**

総額1億4,760万円で新規雇用創出72人、ふるさと雇用6,100万円で新規雇用34名で進行中。本年度は、緊急雇用4,838万円で新規雇用48人、ふるさと雇用1,060万円で新規雇用8名を計上し、一部実施中。緊急雇用の効果は、就職活動対策のため、現段階では把握できない。

②**臨時採用職員の雇用保険・技術習得などの配慮:**

雇用は時限的で、雇用促進事業、ハローワークの労働相談、高齢者職業相談、庁内開設の雇用・生活相談所などと連携し、雇用促進を進める。また、雇用対策の一環として11月中旬にワークフェア(就職面接相談会)をハローワークと合同開催し、企業要請も行なう。雇用保険の加入条件(6か月以上継続雇用見込、かつ1週間所定労働時間が20時間以上)に該当の場合はすべて雇用保険に加入しているが、非該当は未加入。臨時職員の技術習得は、一般的な研修事業と異なり、基本的に各個人の問題で、原則自己責任と考えている。

③**期間終了後、正規採用・就職斡旋などの可能性:**

雇用期間終了後は、ハローワーク等との連携で就職雇用促進事業を進め、円滑な就職を支援する。

④**市職員の弱い技術系の補強:**

技術系職員の配置は、行政ニーズが複雑・高度化し、高度専門知識・技術が要求されることも多い。厳しい財政状況下、職員定数の計画的削減も不可避である。専門的知識や技術が必要な場合は、民間活力で対応して行く。

び:緊急雇用対策は一定評価しますが、臨時雇用で半年以下の契約では雇用保険もつかないので、技術習得を含め、正規雇用につながる体制を要望しています。

また、耐震偽装は、技術職員の検証で問題指摘できた。設備運用や情報処理の技術が弱いため、未解決の問題がある。技術委託も、技術力不足だと業者の言いなりとなる。市政運営に技術力は不可欠で、将来の三田のために本質的改善ができる人づくりを訴えています。

### 2. 第2テクノパーク再起動の課題整備について

問:会派をあげて推進を求めてきた第2テクノパークが再起動した。今後想定される課題について問う。

答:①**誘致条件と優遇措置・制約条件:**

第2テクノパークは、平成3年住宅都市整備公団(現:UR(都市再生機構))が用地買収を開始、平成8年対象区域の約9割を買収完了し、平成9年5月都市計画決定後、事業凍結となった。経済活性化や雇用創出など三田発展に不可欠と、前経済産業省の三田出身次官の応援を得て、国やURに事業再開を働きかけ、やっとURの開発事業者募集で、事業者は株式会社大和ハウスに決定した。本格着手に向け開発事業者、URとも連携し、地元関係者に理解と協力を得ながら、事業認可の早期実現を目指す。企業誘致は、当区域を下水道受益者負担金の適用除外区域と条例改正し、従前の企業立地促進条例により固定資産税、都市計画税の課税免除制度を適用する。魅力的な企業立地を促進に向け、優遇措置等支援策を講じる。

②**環境保護地との共存配慮:**

開発コンセプト、土地利用、景観形成等事業計画は、開発事業者と十分調整するが、北部の保全ゾーンは、貴重な生態系保護と、ため池・湿地・緑地等自然環境の保全を前提に最小限整備にし、南部の企業誘致ゾーンとの調和を図りながら、環境に優しく、景観にも配慮した土地利用とし、人と自然の博物館とも連携して、具体的検討を進める。

③**集中豪雨時の周辺地水害対策(調整池の整備など):**

雨水流域は谷筋からため池への集水域を変更せず、調整池機能保有の新設ため池から内神川へ流入する計画で、熊谷川周辺はテクノパーク流域のため集中豪雨等でも影響ないと判断している。

④**テクノパーク周回道路の整備計画:**

第2テクノ線から高速道路立体交差經由下相野広野線と連結する道路計画は、現財政状況や将来を見ると、極めて困難と判断。開発進捗と生産活動等産業団地の発展という目的に合わせ慎重に対応する。

⑤**将来に向けた勤労者軌道輸送政策:**

交通アクセスの利便性・輸送力確保も、企業誘致の重要な要素だが、新たに交通システムを整備すると、実現性や費用対効果、事業採算性等多くの考察が必要で、モノレールなど新交通システムの整備は、現段階で難しい。企業敷地内での従業員用駐車場確保と、テクノパーク同様に主要駅からの路線バス増便、送迎バス等の対応を図る。

び:第2テクノパークの雇用見込は未定だが、多くの雇用創出に向け推進を図るとともに、今まで飛び地で交通課題を抱えたつつじが丘や学園や周辺地域を含め、JRの各駅との連結強化を図る必要があると考えています。

### 3. 国内姉妹都市提携と観光を活かし三田市発信

問:白洲次郎・正子のドラマ放映や来年の川本幸民の生誕200年を機に、歴史的につながるの深い鳥羽・伏見・函館など都市間交流を進め、国内姉妹都市連携も含め、国内観光連携を図ってはどうか。

答:①**学校間交流・情操教育・郷土意識の醸成:**

三田の歴史は古い。市街地は江戸時代に鳥羽城主九鬼久隆が三田に移された際、城下町として整備・発展した街並みでもある。市民団体が、歴史ウォーク、ビールまつり、幸民科学実験教室、歴史企画展や歴史講演会など、歴史・文化を活用したまちおこし事業を実施。九鬼三田藩中心の都市交流は、平成14年11月鳥羽市主催「鳥羽少年探偵団」を受入れ、旧九鬼家住宅資料館、三田城跡など九鬼氏ゆかりの史跡訪問、平成15年鳥羽市職員有志潮騒倶楽部主催の九鬼水軍ふるさと体験事業(三田御池で子どもたちの權伝馬船乗船体験)、平成18年10月と平成21年1月に三田市と鳥羽市のボランティア団体等が相互交流を図るなど、両市の交流を深めてきた。来年は川本幸民生誕200年、市民や文化団体とも協働・連携して幸民ゆかりの場所や史跡、文化財を調査探検する「幸民探検隊」や九鬼氏のふるさとを訪ねて交流する「鳥羽探検隊」、權伝馬船の試乗体験会など、関連事業の検討を進める。

②**相互紹介の基盤作りから、姉妹都市提携への展開:**

子どもたちや市民が主体的に地域の歴史や文化に触れ、学ぶ活動は、ふるさと意識醸成やアイデンティティ形成に重要であり、積極的に支援する。歴史的な背景に近い各市との都市連携はまちづくりに大きな意義を持つと考え、姉妹都市提携も視野に入れながら、市民レベルの連携を深め、教育、文化、観光など共通テーマに沿った相互交流や学習の機会と場を設定する。

び:歴史を知り、発信することでふるさと意識が高揚します。

他に○カルチャータウンの開発と周辺公共交通について  
○市職員の改善意識の向上について○安全・安心なまちづくりの仕組みについて、質問しました。

## 議会報告(平成21年9月議会)

9月1日(火)9月議会の冒頭、竹内市長は、民主党政権誕生に触れ、今後状況を見ながらタイミングよく対応をしたい、とのこと。また、最近の市政の状況について、以下のとおり。

- ①「第2テクノパーク」は事業者が大和ハウスに決定し、9月契約、平成23年度事業化を目指す。
- ②「(仮称)消防東分署」は、建設予定地を志手原地区に決定し、平成23年4月の開設を目指す。
- ③「JR 三田駅北:高次線」は、地権者協力を得、平成23年度目途に国道176号線へ至る道路拡幅工事に取組む。
- ④「まちづくり基本条例」は、初期段階から市民・議会・行政で十分に検討し、平成23年度に独自条例を制定したい。
- ⑤「家庭ゴミ10%減量大作戦」は、古紙分別回収を、11月に現在の3地区に加え、新たに3地区で実施する。
- ⑥市民病院は、腎臓内科医着任、9月中旬診察再開する。
- ⑦9月1日より昼休み時間の窓口業務を拡大する。
- ⑧三田駅前キッピーモール5階の空き区画は、10月よりカルチャー教室を誘致し、5階は全配置できた。

## 議会報告(平成20年度決算)

### ■市制50周年は緊縮財政

平成20年度は竹内市長就任後初の予算年度で、前市長から引継ぎの19年度が新規事業無し骨格予算だったこともあり、従来の規模に戻したいところを、将来に向け債務削減をめざして、人件費削減など緊縮財政を実現しました。

市制50周年も手作り式典で「協働のまちづくり」を象徴する確かな一歩を踏み出した年でした。

- ①一般会計は、当初予算345.8億円に対し、  
決算は歳入378.8億円、歳出371.0億円。
- ②特別会計は、当初予算174.4億円に対し、  
決算は歳入174.4億円、歳出166.5億円。

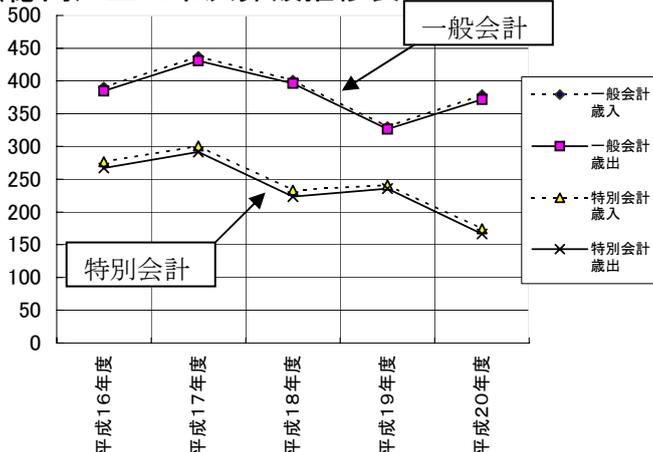
### ■決算の内訳とポイント

歳入は、主要財源の市税など自主財源は252.1億円で66.6%を締める。前年度より21.6億円増加したが、昨年前半の好景気での見込み税収がふくまれており、昨年後半の経済危機などでかなりのマイナス調整結果が見込まれる。

歳出は、消費的経費は194.4億円で53.5%を締め、対前年度3.2億円削減できた。人件費が1.9億円減、物件費が2.8億円減と削減努力は認められる。

投資的経費60.9億円と対前年度25.3億円増となっているが、UR都市再生機構の立替施行償還金の繰上げ返済24億円が含まれている。将来的に金利支払いが削減できたので良い方向に進んでいると考えている。

(億円) 三田市決算額推移表



## びとう和広の視点

### ■<水は方円の器に随(したが)う>

「水は方円の器に随う」という言葉があります。中国の故事で「水は四角や丸の器の形におさまる。」そこから「人はその環境によって良くも悪くも形成される」との意味と聞いています。これは、人を水にたとえたものですが、水は大きな価値があります。

水は形がありません。しかし人間にとって必要不可欠で、多すぎても少なすぎてもいけません。そして運搬はとても難しく、阪神淡路大震災で給水活動が大変だったことをみても分かると思います。日本では「湯水のごとく…」と、いくらでもあるイメージがありますが、海外に行くと水は貴重品です。生水はまず飲めません。多くの国を横切る河は戦争の原因にもなります。世界中で砂漠化が進んで、深刻な食糧問題も起こっています。秋に黄砂が飛んできましたが、中国内陸部の乾燥を象徴する現象と考えられます。

今、ハツ場ダムの中止はじめ143箇所の建設予定・建設中のダムを見直す、と新政権は頑張っています。私はその考え方を評価しています。その裏に「緑のダム」があるからです。

### ■<緑のダムとは?>

ダム問題は建設費や用地買収などの準備費、そして維持管理運営費が大きな論点ですが、ここでは「水」に目を向けます。水は雨となって地上に落ち、川になって流れ、海や池に集まり、蒸発して空気中にもどります。あるいは、土に浸透して地下水や泉となり、飲み水となって動物・植物の命を支えます。この大きな自然の営みは、対流になって青い星「地球」を支えています。近年河口付近の海底の石灰化が問題になっていますが、その原因は川から海に流れ込む水に森林の微生物がないからだと言われています。コンクリートの川だけを流れた水は海も殺しているのです。里山の落葉の中で育まれた地下水が、微生物を伴って川に海に流れてこそ、地球は青い星でいられるのです。

最近集中豪雨の水害被害が報道されています。その原因の一つに手入れされていない山林があると考えています。家の中に流れ込んでいる倒木はその証拠であり、被害拡大の要因です。手入れされた山林は、放置された山林の約3倍の保水量があると聞いたことがあります。ダムを造って生活水を確保するのも大切な治水ですが、必要以上には要りません。むしろ、日本の原風景を残して、自然と共存するほうが日本らしいと考えます。

### ■<政権交代…実現して、どうなるのか?>

前回、政権交代を訴え、実現しましたが、官僚が既得権を簡単に手放すわけがありません。しかし、この政権交代はしがらみを断ち切り、日本を護る必須条件だと思っています。日本国民も新政権に最後の望みを託したわけです。新政権はそういう危機感を持っています。だからこそダム見直しの断行です。決して私利私欲の集団であってはならないのです。

日本の官僚は優秀です。既得権に固執するのではなく、地球のために、日本のために、将来の子孫のために、何が大事か、今一度考え直していただくと信じています。そして、国民の声の代表者である議員とその中心となる内閣に対して、法律や技術で政策に展開し推進できるスタッフになっていただくと信じています。

「水は方円の器に随う」のです。

## 後援会活動報告・ご案内

7月のビアパーティでは多くの方にご参加賜りありがとうございました。大いに盛り上がり、喜んでいました。

三菱電機三田製作所サマーフェスティバルでは、野菜市が大盛況で早々に完売となりました。ありがとうございました。

三田まつり花火大会の募金額は17,139円。ご協力ありがとうございました。残念ながら当日の天候により中止になりましたが、来年こそ夜空に大輪の花が咲くことでしょう。



## ボウリング大会開催 11/25 (水) 19:00~

場所：スーパーボウル三田  
(Tel:078-951-1900)

会費：1千円（詳細は別紙参照）  
多くのご参加よろしくお願いたします。



## 民主党兵庫県第5区より

～～ 政権交代実現 ～～

この度の総選挙におきまして格別のご支援をいただき、小選挙区での勝利を与えていただきました。そして民主党は308議席を獲得し、念願久しかった政権交代をなすことができました。国民の皆さんの大きなご支持をしっかりと受け止め、政権党としての責任を果たしていく決意です。官僚主導の政治を転換し、国民主権の政治を実現するための本当の戦いが始まろうとしています。

美藤議員共々、頑張ってまいりますので、益々のご支援をお願い申し上げます。

民主党兵庫県第5区総支部代表  
衆議院議員

梶原やすひろ



## びとう和広後援会より

後援会会員の皆様方には、日頃より力強いご支援・ご協力を賜り、誠に有難うございます。また、後援会活動におきましても、ご理解とご協力をいただき、心より厚く御礼申し上げます。

『びとう和広』は、国政の政権交代により、一層政策実現が進め易くなったとともに、その責任を感じているようです。

『びとう和広』は、三田市の全体と将来を思い、財政はじめ多くの課題に取り組むとともに、皆様とともに、安心・安全で元気なまちづくりのため、政策を進めてまいります。

議会改革活動も精力的に進め、市政のチェックや後援会活動とあわせて、力強く邁進しております。

『びとう和広』は、これからも後援会の皆様に少しでもお出会いし、また、より多くの皆様の声をお聞きし、問題解決に向けて全力で活動する所存でございます。まだまだ未熟ではございますが、精一杯頑張っております。

一点お願いがございます。これからの活動において、ポスティングやミニ集会開催にあたり、ご支援可能な方がおられましたら、ぜひご連絡頂き、ご協力賜りたいと存じます。よろしくお願致します。

皆様の倍旧のご指導・ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。後援会からのご挨拶といたします。

びとう和広後援会 会長：長谷川 満敏

【びとう和広 後援会 連絡先】

<連絡先> 〒669-1513 三田市三輪2丁目3番33号  
三菱電機労働組合三田支部気付  
Tel: 079-563-1860 Fax: 079-563-5093

<自宅> 〒669-1537 三田市西山2丁目11番13号  
Tel: 079-562-8653, Fax: 079-562-0730

<電子メール> [bit@venus.dti.ne.jp](mailto:bit@venus.dti.ne.jp)

<ホームページ> <http://www.bitto-kazuhiro.com>